

地域ネットワーク ニュース 第32号

- 1 地域リーダー応援講座開催
.....1 ページ
- 2 「地域の底力」取組紹介
.....2 ページ
- 3 38 地区連合町内会長による
情報交換会開催.....3 ページ
- 4 不動産関係団体との意見交換会
開催.....3 ページ
- 5 連絡協議会・八戸市からのお知らせ
.....4 ページ

▼はじめに

このニュースレターは、八戸市連合町内会連絡協議会の取り組みや八戸市内の連合町内会・町内会・自治会の活動などを紹介し、相互の情報共有や各町内会等での活動に役立てていただくこと、さらには、市民の皆さまにもお読みいただき、町内会の活動への関心を高めていただくことを目的に発行するものです。

令和5年度 地域リーダー応援講座を開催しました！



令和6年1月28日（日）、八戸グランドホテルを会場に『地域リーダー応援講座』を開催しました。

当講座は、地域づくりに役立つ知識やアイデア、具体的な手法など実践的な内容を学ぶ講座です。

今回は、八戸市が推進している「地域の底力」実践プロジェクト促進事業に取り組んだ3つの地域に活動内容を紹介していただきました。

当日は、町内会関係者や地域活動に関心がある方など約80名の皆さんが参加されました。



➡3地区の取組事例紹介は2ページです。



上長

「健康と運動をテーマに地域をつなげよう！

ラジオ体操イベント！」HACHINOHE FESTIVAL

【実施主体】

上長地区町内連合会



八戸駅西口シンボルロードを歩行者天国にして、ラジオ体操やボッチャ、ヨガ、盆踊り、高校生によるエクササイズなど健康と運動をテーマにしたステージ発表のほか、地域の学校は日ごろの取り組みを発表しました。八戸駅西口シンボルロードを中心とした八戸駅かいわいの賑わい創出の一助となりました。

下長

「未来につなげよう！下長の歴史再発見」

【実施主体】

下長地区連合町内会



地域の沿革や、地名の由来、神社、祠、石碑などに加え、近年の産業の発展をまとめた歴史ガイドブックやマップを作成・活用し、住民が地域の歴史に触れ、ふるさと意識と地域への愛着の醸成を図りました。

根城

「根城・鮭活」で目覚める地域の力

【実施主体】

根城地区連合町内会



根城の「イイネ！」発見ウォーキングコースの作成、根城の「イイネ！」フォトコンテスト、一坪山車の作成に取り組みました。根城で育つ子どもたちが、ふるさとの魅力を感じ、根城を愛し、八戸を離れても根城を忘れない、ふるさとに想いを寄せる活動です。

令和5年度 38地区連合町内会長による情報交換会を開催



令和6年2月22日（木）、八戸グランドホテルにて、『38地区連合町内会長による情報交換会』を開催しました。
はじめに、事務局より令和5年度の町内会加入率などについて報告し、その後、市長から令和4年度から令和5年度にかけて市内25か所で開催した「市長との公民館サロン」の成果と今後の展開などについて説明がありました。

最後に、「町内会役員の高齢化・町内会の担い手不足」、「町内会の地震対策やごみ減量対策」について意見交換を行い、情報共有を図りました。



第9回不動産関係団体との意見交換会を開催



令和6年1月18日（木）、第9回不動産関係団体との意見交換会を開催しました。

この意見交換会は、平成25年9月に協定を締結している不動産関係団体（公益社団法人 青森県宅地建物取引業協会八戸支部・公益社団法人 全日本不動産協会青森県本部）と八戸市連合町内会連絡協議会、八戸市による団体間の情報共有を図るとともに、町内会加入促進に関する意見交換の場として定期的に行っているものです。

今回は、アパート等入居者の加入促進に向けた方策、分譲住宅やアパートへのごみ集積所の設置、空き家対策等について意見交換を行いました。



町内会のデジタル化に取り組んでいる先進地を視察しました！



令和6年2月15日（木）から16日（金）に、町内会のデジタル化に取り組んでいる先進自治体の視察を実施しました。

視察先：福島市、多賀城市

参加者：八戸市連合町内会連絡協議会理事及び部会員6名、事務局2名

電子町内会推進事業について（福島市）

○目的：市民生活における電子化の推進とコロナ禍における地域コミュニティの維持・活性化

○内容：・市からの通知・回覧文書を電子メールで町内会に送信

※町内会員への伝達方法は町内会に一任

・電子町内会推進アドバイザーの派遣

※派遣項目は町内会の要望に柔軟に対応

・スマートフォン体験講座の開催

・電子町内会ウェブサイトの運用

※町内会の専用サイトを作成し、町内会の紹介や活動実績などを掲載



○効果：アンケート結果より

・情報の伝達が速くなったか ⇒速くなった 66.6%

・電子メールで届いた回覧文書をどのように回覧したか

⇒ 電子回覧主体 29.2% すべて紙による回覧 54.1%

○課題：ICT機器を所有している会員が少ない。ICT機器を使いこなせる会員が少ない。町内会内で電子化を推進できる人材が少ない。

LINEによる町内会の情報配信について（多賀城市）

○町内会から相談を受けた市がLINEの公式アカウントを試作し、

高橋東二区町内会（世帯数：811）で運用を開始

○内容：ゴミ収集のカレンダーや毎月発行する町内会新聞の閲覧、町内会活動の案内や地域情報の発信、災害発生時の各種情報の提供等

○登録者数：約120人 ※LINEだけでなく、回覧板も併用している。

3月・4月は町内会加入促進月間です。ポスター・チラシをご活用ください！



当協議会では、町内会の活動を紹介するポスター・チラシを作成し、町内会等へ提供しています。

活動への参加や新規加入のご案内ができる内容となっておりますので、提供を希望する場合は、市民連携推進課（☎43-9182）までご連絡ください。



編集発行：八戸市連合町内会連絡協議会（事務局：八戸市総合政策部市民連携推進課）

電話番号：0178-43-9182 FAX 番号：0178-47-1485

電子メール：renkei@city.hachinohe.aomori.jp

八戸市 市連合

